

後輩となる皆さんへ

こんにちは。このたび、岡山大学医学部医学科に合格しました、小野田晃志です。

この春岡山県立朝日高校を卒業いたしました。

私の受験について簡単にまとめましたので、後輩の皆さんの今後の勉強の参考になれば幸いです。

まず、簡単に自己紹介をさせていただきます。私は父の影響で、小学校の頃から医師を志すようになり、中学入学後にパスカルに通い始めました。パスカルでは、難しい問題にも柔軟に対応できる「論理的な数学力」を身につけることができました。特に、高3の最後に数学を担当してくださった上甲先生には、楽な方へ流れがちな私を叱咤激励していただき、合格へと導いていただきました。

以下では、高校2年の秋以降の受験勉強について、時系列で述べさせていただきます。

高2冬

この頃から受験勉強に本格的に取り組み始めました。それまでは部活動の将棋に力を入れており、勉強は定期試験前に行う程度でした。この時期から物理・化学は重要問題集を用いて演習を重ねていました。模試の判定はCやDが中心でした。

高3春

この時期から危機感を覚え、1日7~10時間程度勉強するようになりました。主に物理・化学の復習と英語の長文読解に取り組みました。また、夏休みまでに高校範囲を一通り終えることを目標に、先取り学習も進めていました。周囲の東大・医学部志望者も同様のペースで進めていたため、それに合わせた形です。先取りには、塾に加えてYouTubeの講義動画やスタディサプリを活用しました。模試では、この頃に岡山大学医学部でB判定やC判定が出ていました。

高3夏

夏休みは、毎日カフェなど集中できる場所で長時間学習に取り組みました。この時期は、物理・化学の完成に加え、数学では『大学への数学』の『1対1対応の演習』を数Iから数IIIまで一通り解きました。英語も1日2時間程度、長文読解と単語学習を継続しました。また、過去問にも取り組み始め、実施日と得点を記録していました。

数学については、この時期までに苦手分野をできるだけ克服しておくことが重要だと思います。私自身は数Cが最後まで課題として残り、直前期に苦勞したため、早い段階で対処しておくべきだったと感じています。物理・化学は、この時期までに過去問がある程度解けるようになっていれば、適切な進捗だと思います。

高3秋

この頃は、数学・物理・化学について、志望校以外の大学の過去問も活用しながら演習を行い、記述の添削も受けていました。英語は主に学校とパスカルの授業で対応していました。また、文化祭や体育祭の期間中は勉強量を大きく減らし、行事に集中しました。中途半端に勉強を続けるよりも、行事後に気持ちを切り替えて集中する方が効率的だと判断したためです。模試の成績は記述模試では B～C 判定でしたが、夏の共通テスト模試で偶然 A 判定を取ったことで油断し、共通テスト対策が遅れてしまいました。その結果、以降の模試では C や D 判定が続きました。共通テスト対策は 11 月半ば頃から開始しましたが、医学部志望者にとって共通テストの配点は大きいため、より早い段階から取り組むべきだったと感じています。特に社会科目は、夏頃から継続的に学習しておくことが重要だと思います。

直前期

共通テストリサーチは B 判定であったため、岡山大学に出願しました。最後の 1 か月は、岡大数学の出題傾向を分析し、出題が予想される分野に重点を置いて対策を行いました。結果として、大問 4 問中 3 問が的中し、有効な対策であったと感じています。私は英語が苦手であったため、数学で得点を確保する方針を取り、直前期は数学に重点を置いて学習しました。他科目は主に学校での演習にとどめました。直前期の学習配分については様々な考え方がありますが、自分にとって最も合格可能性が高まる方法を選択することが重要だと思います。

以上が、私の受験の大まかな流れです。少しでも参考になる点があれば幸いです。最後に、後輩の皆さんが第一志望に合格されることを心より願っています。また、これまで支えてくださったパスカルの先生方に深く感謝申し上げます、結びといたします。